

## 日経新春杯

<AI注目馬>

9, 10, 11, 13, 14

<最終見解>

ロベルト、サドラーズウェルズ系を持つ馬が人気薄で走りやすい  
欧州のなかでも馬力要素が特に強いレース。

本命はヴェローナシチー

父が欧州型でロベルト系のエピファネイア。  
サドラーズウェルズも持つ種牡馬。

近親のシュペルミエールは 2019 年の日経新春杯で 3 着。  
当時は京都芝 2400m の施行でしたが、馬場はタフ。  
レース上がりは 37 秒台で持久力が問われました。

牝系も持久力、馬力が問われる舞台が得意。

相手妙味はプリマヴィスタ、キングオブドラゴン、イクスプロージョン。

プリマヴィスタはノーザンダンサーのクロスが濃く、母系にアレツジド。  
馬力と持久力を強化する血統。

キングオブドラゴンは母母父が欧州の歴史的な馬ブリガディアジェラードの系統。  
兄も非根幹距離の重賞勝ち馬。

イクスプロージョンは母系にロベルト、サドラーズウェルズ。  
近親にも非根幹距離の重賞勝ち馬が複数。

## 京成杯

<AI注目馬>

2, 7, 8

<最終見解>

昨年、一昨年と 5 人気以下で馬券になった 4 頭は父欧州型血統。  
かつ前走 2000m。

今年の父欧州型は 1 頭のみで、前走から延長。母もスピード型。

そこで本命はサヴォーナ。

3 年前に 7 人気で優勝したクリスタブルバックと同じキズナ産駒。

キズナ産駒は欧州指向の強いディープ系。

サヴォーナの母父は馬力馬場に強く、若駒限定戦での体力優位なスニツツエル。  
今の馬場は馬力型のディープ系も走りやすいのも有利。